

自然



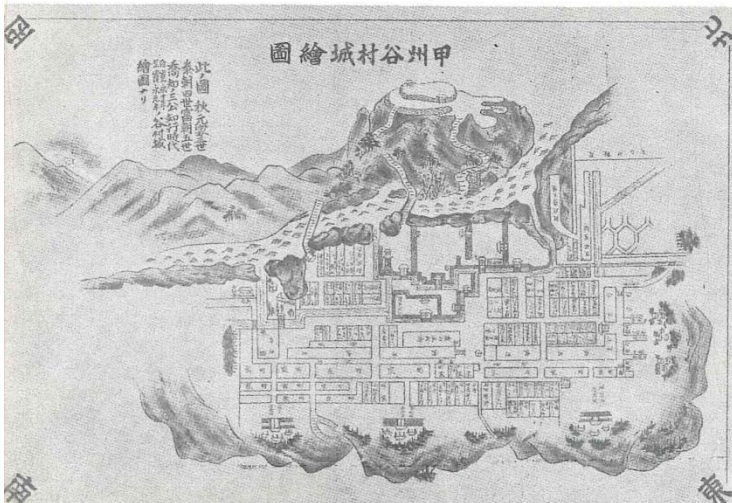
沿革

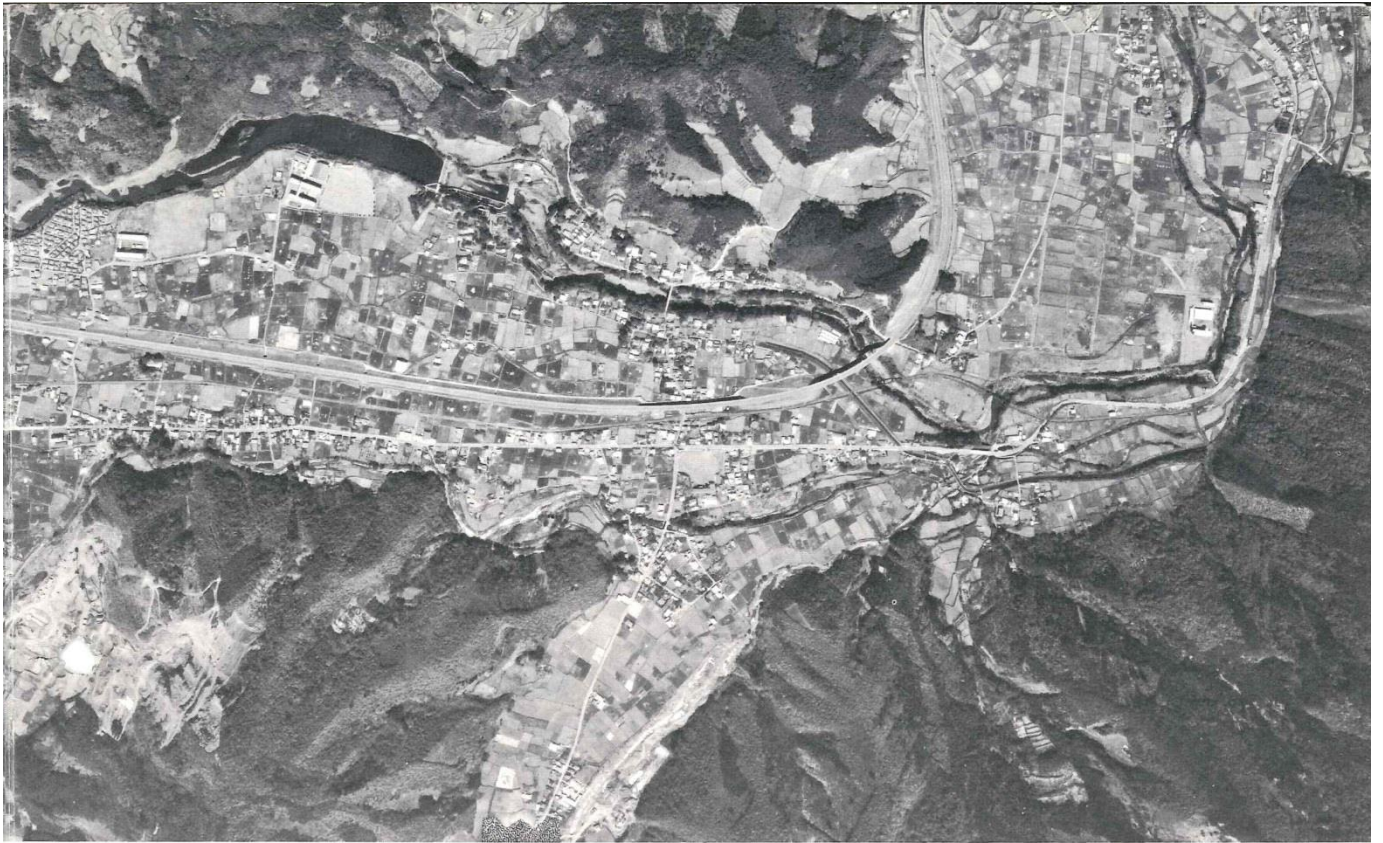
●都留市の歴史

都留市は昭和29年4月29日谷村町、宝村、禾生村、盛里村及び東桂村の1町4ヶ村が合併し、人口31,017人を擁し山梨県下4番目の市として誕生した。

都留の地名がいつ頃からあったかは明らかでないが、天正17年検地の際、ここを郡内と称したが、この郡名都留郡の「つる」は、富士のすそ野が植物の「つる」のように伸びたところから「連葛」、「豆留」とも書かれたと伝えられ、また一説には、このあたり一帯に鶴が多数棲息していたことから「羽休庄」（はねやすみしょう）とも呼ばれ、「鶴」が「都留」に変化したもの由来したので、市名もこのめでたい「都留」を取り入れ選定された。

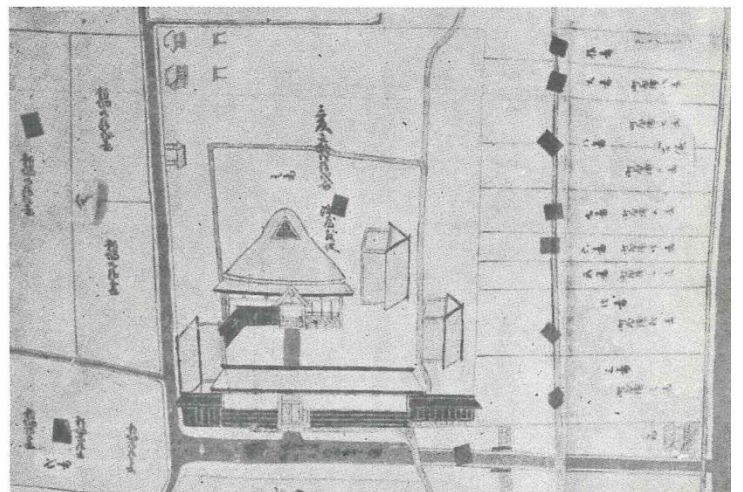
市内から発見される遺物や出土品によって第二期弥生式文化期にはすでにこの地で生活が営まれていたようであるが、つまびらかなことは天文元年（室町時代1532年）武田氏に属した小山田越中守信有が谷村に館を建て、領政を始めた頃から発展し、天正10年徳川の家臣鳥居彦右衛門尉元忠が谷村城主に着任、その後幾度の変遷があり、文禄3年河野左衛門が勝山城を築き城主となった。寛永10年（1,633年）秋元但馬守泰朝の配するところとなり、宝永2年代官制施行により秋元氏が武州川越に移るまでの74年間政治、経済、文化の中心地となり、その後徳川氏の直轄領地となり御代官陣屋がおかれ、甲府に次ぐ城下町として栄え、今日の基礎をつ





くったのである。

特にこの3代にわたる統治時代は織物産業の開発に意を配した結果、甲斐絹【他産地の織物に見ることのできない独特の光沢から「海気」（海面から立昇るもや）の呼称を生んだほどで、明治のはじめ「かいき」は「甲斐絹」の字をあてることになった】は特に目ざましく、自家用から家内工業へと進み、郡内縞、白郡内、色郡内、川和縞等の名で夜具地、羽織の裏地と平安、室町の時代から江戸時代を通じ、その需給は多く、これが現在全国で愛用されている甲州八端織物のはじめである。明治4年の廃藩置県、そして同11年郡界制定で都留郡は、北都留郡と南都留郡の2郡に分けられ、この地は南都留郡に属することになり、同22年村制の施行で町村の区域が定められ、明治29年3月7日谷村町が発足した。昭和17年4月1日三吉村、開地村を谷村町に合併し、11,898人の町となった。現在の市庁舎は5万都市を旨とした理想的な近代建物として昭和43年に新築された。なお市制施行後は、住宅団地の形成、道路改良と、より広い生活圏の確立を行ない、中央自動車道が建設されたことにより工場誘致を積極的にし、農業振興には、土地改良、圃場整備事業などにより豊かな経済圏を起し、より高い文化都市となるよう、都留文科大学を開校するなどして、ランスのとれた計画的な生産、環境基盤整備を施しつつ、縁と、水と、澄んだ空気に恵まれた住みよい都市化づくりが進められております。



位置、地勢

都留市は山梨県の東南部に位し、東は南都留郡道志村に、西は同郡西桂町、富士吉田市に、南は忍野村、北は大月市にそれぞれ接しており、東西20.5km、南北17.5km、面積161.97K㎡、で南北は山で囲まれ、東西に開けている。

標高は中心地で490m、周囲は1,000m以上の山々に囲まれ、中央を山中湖に水源を発する桂川が流れている。この流れに沿って国道139号線と中央自動車道が、そして富士急行社線が走っている。なお市街地の中心部の交通緩和のため近く国道バイパスが建設される予定である。



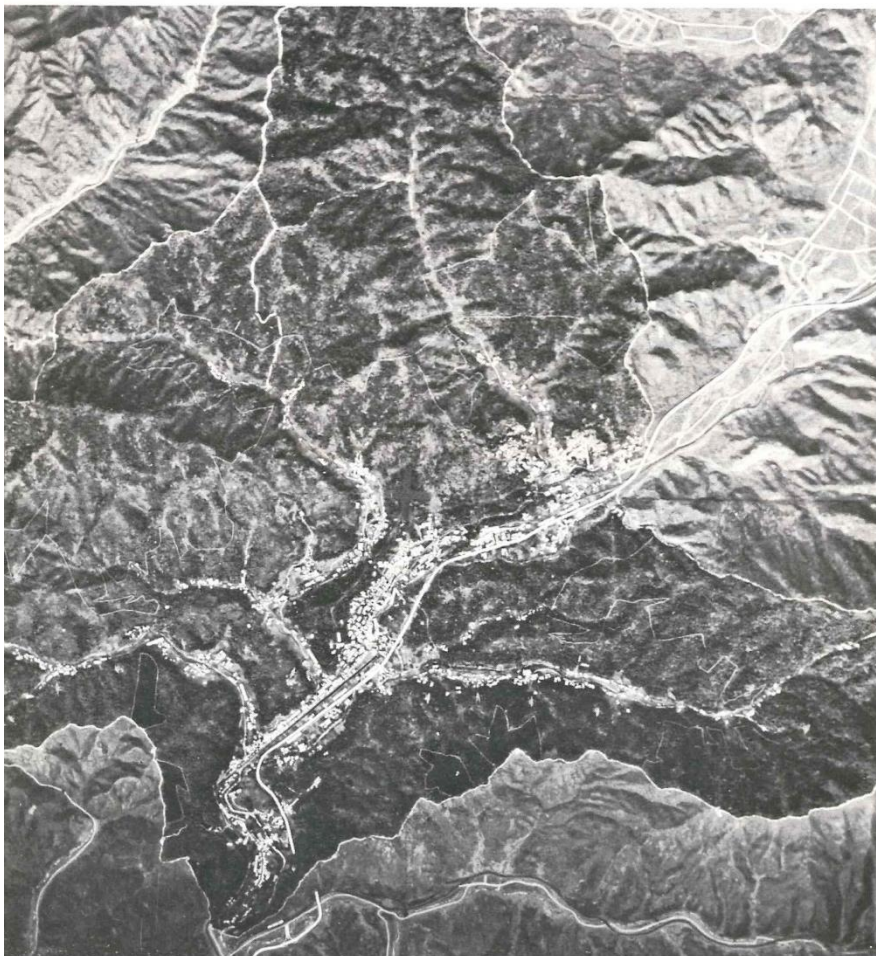
都留市の位置

東経 138度54分30秒
 北緯 35度33分53秒
 標高 海拔490m
 面積 161.97K㎡

土地の地目別構成

昭和48年10月現在

農地	1,170ha	7%
田	564	48
畑	257	22
樹園地	349	30
宅地	289	2
公共用地	178	1
山林原野	13,570	84
その他	990	6
計	16,197	100





気 象

北緯35度33分53秒の地点にあるので本来は温帯地帯であ
って気温も温暖であるべきだが、標高450m以上の富士山
麓の一部を構成する形態にあるので、高原性の気温とな
り、同緯度の気温より低い。

昭和48年

気象概況

月 別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
最高気温c	16.2	18.8	20.0	29.0	29.7	29.0	34.3	36.4	34.5	25.4	20.3	15.8	
最低気温c	-7.7	-7.8	-5.4	0.3	2.0	6.6	16.4	16.1	10.6	4.0	-3.8	-8.7	
平均気温c	1.9	3.7	5.1	13.7	15.3	17.8	24.0	25.8	19.9	13.6	7.6	1.6	
降 雨 量mm	137	55	20	135	94	140	143	107	177	183	38	0	
晴日数	17	17	16	7	10	0	5	10	6	12	20	28	148
曇	4	6	11	10	13	16	17	11	13	7	7	3	118
雨	7	5	2	13	8	14	9	10	11	12	3	0	94
雪	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
計	31	28	31	30	31	30	31	31	30	31	30	31	365

区 分	最 高		最 低		c	mm	月日	月日	月日	月日
	月	温 度	月	温 度	年平均	年間降雨量	初 霜	終 霜	初 雪	終 雪
昭和31	8	34.5	1	- 8.5	12.5	1,760	10.31	4.30	11.21	4.8
32	8	33.6	1	-10.5	12.2	1,610	11.9	5.16	1.20	3.8
33	8	36.5	1	-11.3	12.0	2,125	10.19	5.13	12.5	3.7
34	8	33.9	1	-10.2	13.3	2,109	10.29	4.15	11.15	2.24
35	8	34.0	1	- 9.8	13.2	1,420	11.15	4.10	12.17	4.4
36	8	33.6	1	- 8.8	12.3	1,467	10.21	4.17	12.4	3.27
37	8	35.2	1	- 9.1	12.8	1,507	11.8	4.20	1.1	3.30
38	8	35.4	1	-13.0	13.0	1,208	10.6	4.12	11.22	3.13
39	7	34.9	2	- 8.8	13.3	1,142	11.4	4.30	11.30	3.27
40										
41										
42	8	34.9	1	-11.5	12.8	1,249	10.22	4.26	12.14	3.22
43	7	35.0	2	-12.5	12.7	1,467	11.11	4.22	12.19	3.3
44	7	35.2	1	-10.0	12.4	1,398	10.30	4.20	1.30	4.17
45	7	35.3	1	-11.0	12.0	1,453			11.15	3.22
46	8	34.8	1	- 9.1	12.3	1,297			1.3	3.23
47	8	34.1	2	- 7.6	12.8	1,863			12.23	3.13
48	8	36.4	12	- 8.7	12.5	1,230			1.7	3.17